

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
プログラム・抄録集

会 期：教育研修会 平成22年2月18日(木)
学 会 19日(金)
 20日(土)

主 催：福井大学医学部 感覚運動医学講座
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
会 長 藤枝 重治

会 場：A O S S A

福井県福井市手寄 1 丁目 4-1

ご 挨拶

福井大学医学部 感覚運動医学講座
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
会長 藤枝 重治

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会を担当させていただくにあたり、本学会員の皆様に心より感謝申し上げます。福井でこの学会を開催いたしますのは初めですが、福井大学（旧福井医科大学）としては、恩師、齋藤等教授が、あの懐かしい新宿セブンシティーホテルで第13回の学会を担当させていただきました。私は、耳鼻咽喉科医になった1年目の終わる3月からこの学会に参加させていただき、数多くのことを勉強させていただきました。故石川哮教授、奥田稔教授、今野昭義教授から鋭い質問を受けますと大変緊張しましたが、質問を受けないと研究内容がおもしろくなかったのかなと気分が落ち込みました。今日の自分があるのは、この学会のお陰だと思っております。

さて世間では、民主党が行いました「事業仕分け」が注目を浴び、スーパーコンピューター予算を代表例に研究費の削減を予測させる危機に脅えています。本学会は、アレルギー、粘膜免疫、癌免疫など様々な研究が発表され、耳鼻咽喉科の中では比較的基礎的研究レベルの高い学会と言われてきました。しかし残念ながら億という単位の研究プロジェクトにこの学会会員がこれまで参加できていないのも現実です。それに輪をかけ、小泉改革後の大学病院運営の変更、新研修医制度などから、最近是非常事態宣言を出さなければいけない程ひどい状態になってしまいました。そこで今回はまずは、どうにかしてしばらく前の活気を取り戻したい。とにかく学会員の皆様の気持ちを盛り上げたい。できればビックプロジェクトにつながる研究のアイデアを得ていただきたいと思いますと思っております。そのような理由からも原則口演を1会場とし、多くの先生1演題に集中していただき、質問が受けられるような学会運営にいたしました。

そのため学会内容では、シンポジウムを敢えて組まず、自薦他薦の素晴らしい演題には15分の講演時間として特別口演枠を4題設定しました。また口演は時間の都合上40題とし、特別枠4題（応募8題）と口演40題（応募59題）はプログラム委員6名の抄録に対する採点で公平に行いました。これほどの厳密さは、今回、初の試みです。そのため素晴らしい内容でありながらポスター演題になった演題もあり、お詫び申し上げます。その代わり、口演に選ばれた演者の方は自信を持っていただきたいと思います。今回のメインテーマは「基礎研究から臨床治療への橋渡し」であります。繰り返しますが基礎的な研究成果から治療へのヒントをぜひとも得ていただきたいと思います。

初日の教育講演は、東京医科歯科大（元秋田大学）・樗木俊聡（おおてきとしあき）教授と兵庫医科大学・中西憲司教授にお願いいたしました。樗木教授は、粘膜関連リンパ組織中の樹状細胞に注目し、樹状細胞におけるIL-15の重要性を証明さ

れたのを皮切りに、IgA 産生における樹状細胞からの TNF/iNOS の関与、昨年 6 月には IFN に造血幹細胞の増減を制御する機能があることを見出し、Nature および Nature 関連誌に 2001 年からほぼ毎年掲載されておられます。2007 年に第 10 回日本免疫学会賞を受賞され、現在日本で最も注目されている新進気鋭の教授であります。中西教授は、IL-18、IL-33 を中心とした全く新しいアレルギー性疾患の発症機序の解明と治療法の開発をなされ、免疫・アレルギー分野の大御所でおられます。2009 年には好塩基球がアレルギー炎症の司令塔であることを証明され、Nature 関連誌に掲載されておられます。このお二人のお話を聞いてしっかり勉強したいと思います。

そしてスポンサードレクチャーは、グラクソ・スミスクライン社のご賛同により、2008 年北京オリンピック 男子 400 m リレー銅メダリスト朝原宣治さんと奥様で 1992 年バルセロナオリンピック シンクロナイズドスイミング ソロ・デュエット銅メダリスト奥野史子さんをお招きします。大きなプレッシャーを背負いながらの夫婦一丸となつての努力でメダルを手にした朝原選手、「めっちゃかっこええやん、お父さん」と支えられた史子さんに鼻呼吸の重要性をアスリートからの体験を踏まえて楽しくお話していただき、我々も元気になりたいと思っています。出席される会員のご伴侶・ご子息の参加も歓迎です。

スポンサードセミナーは、東京大学医学研究所・清野宏教授に、頭部顔面領域粘膜免疫機構という新しい概念に関して講演をお願いしました。ヒトに関しては、どのようなものなのか新しい視野を養いたいと思います。

モーニングセミナーは、京都大学・新実彰男准教授に慢性咳嗽についてお願いしました。ランチョンセミナーは、理化学研究所・玉利真由美研究リーダーと筑波大学・檜澤伸之教授にゲノム解析と解析からのテーラーメイド治療について、太田総合病院・千葉伸太郎先生には花粉症と睡眠障害について、東京医科歯科大学・横関博雄教授にはスギ花粉症皮膚炎についてご講演をお願いしました。すべてアレルギーに関する最も興味深い分野を選びました。

2 月の福井は、雪が降る薄暗い天気ですが、最近の温暖化で降雪も少なくなりました。学会期間中はまず市内には雪がないと思います（希望的観測を含みますが）。学会会場は J R 福井駅に併設しています。小松空港へのバスは会場前から出ています。永平寺や東尋坊へも貸し切りタクシーが学会会場前に待機しています（この方が安く、時間設定のセット料金があるとのこと）。昔のちんちん電車でも行けます。永平寺は、山深いので雪があると思います。雪の永平寺、素敵です。一度見てみる価値があります。東尋坊では綺麗な波の華（波しぶきのこと）が舞っています。越前ガニを代表とする大変おいしい日本海の魚、淡麗辛口の福井地酒が、皆様をお待ちしています。3 日目の学会はお昼に終わるように設定しました。研究も余裕からです。どうぞたっぷり福井を楽しんでいただきたいと思います。

会場案内



AOSSA

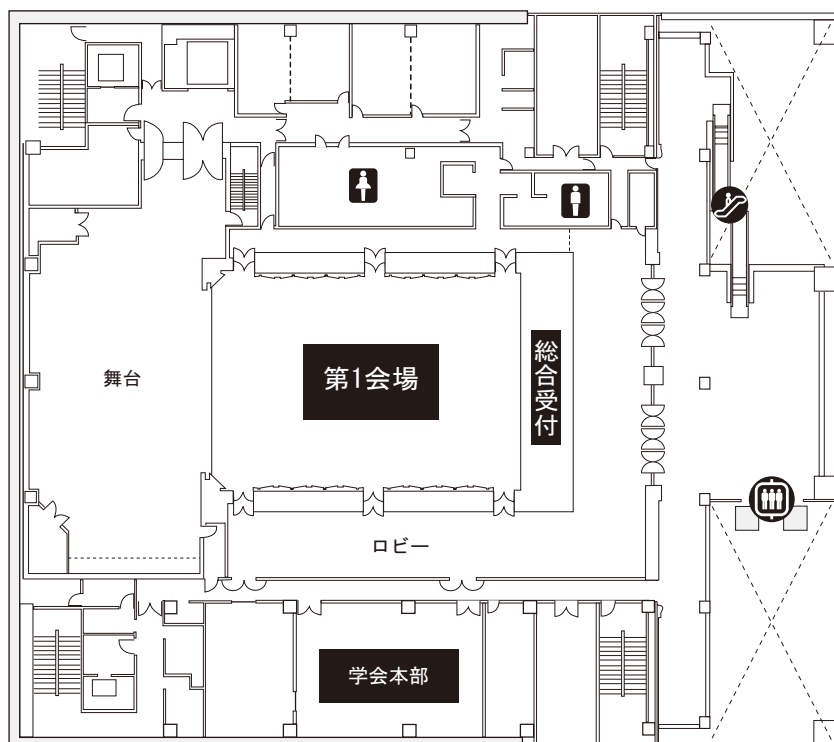
福井県福井市手寄1丁目4-1
●福井駅東口より徒歩1分



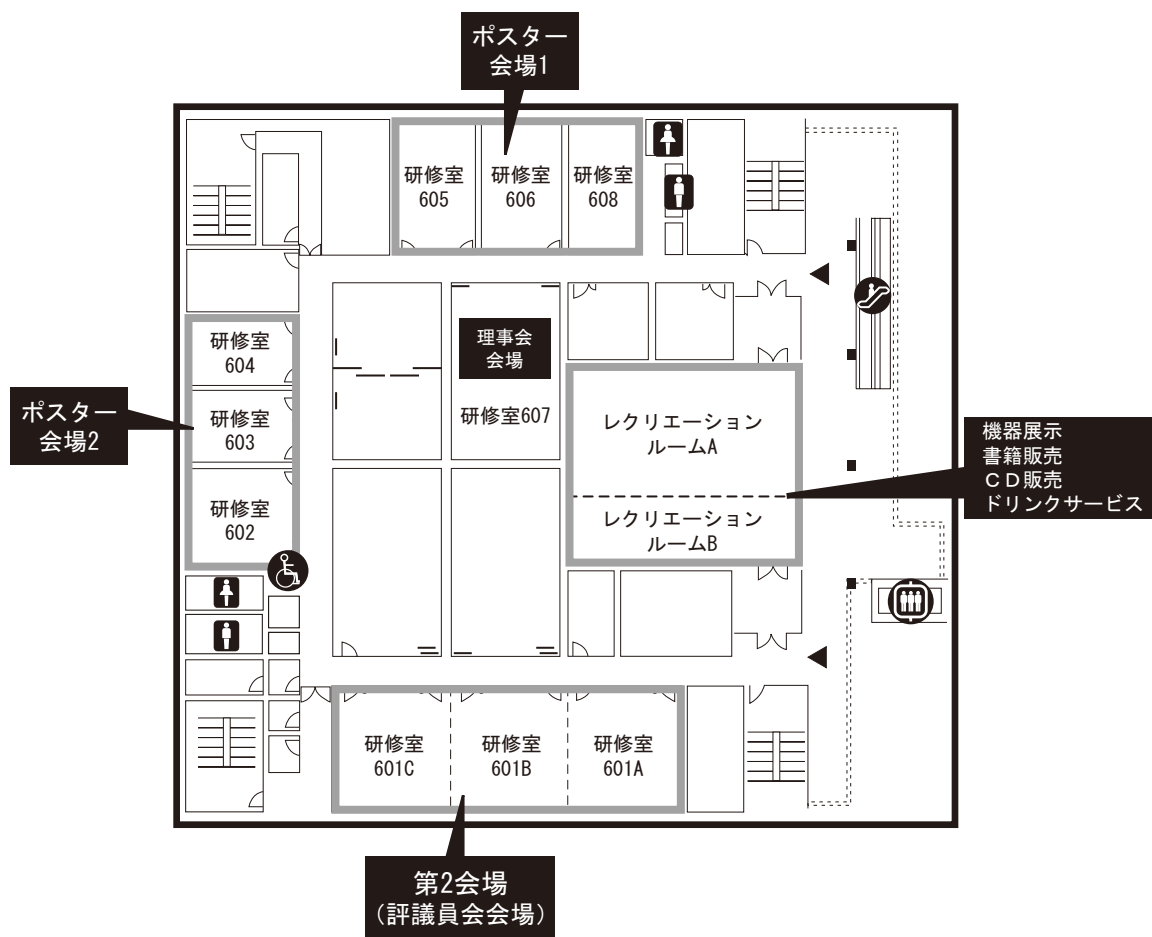
YOURS HOTEL

福井県福井市中央1-4-8
●福井駅西口より徒歩3分

AOSSA 8階 県民ホール



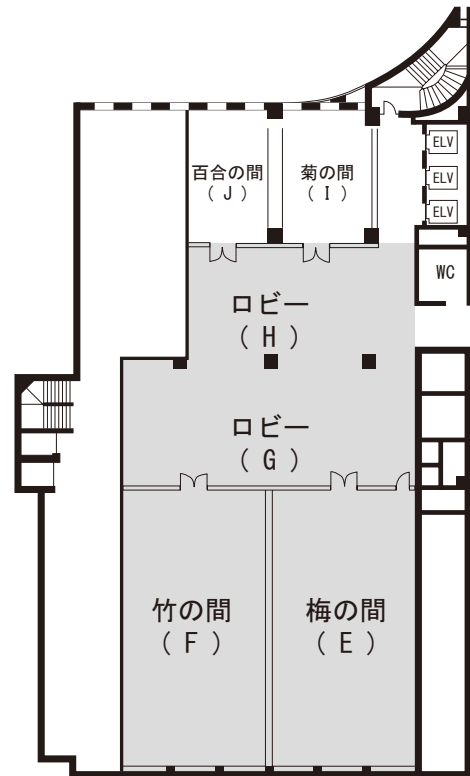
AOSSA 6階 福井市地域交流プラザ



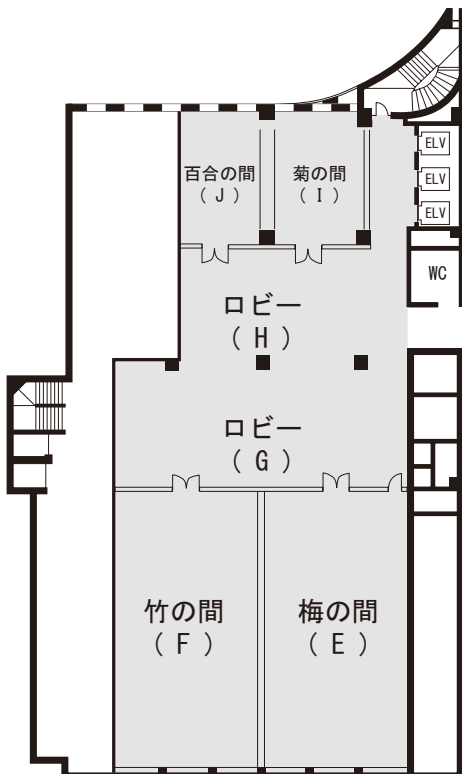
18日 スポンサーード 懇親会

YOURS HOTEL

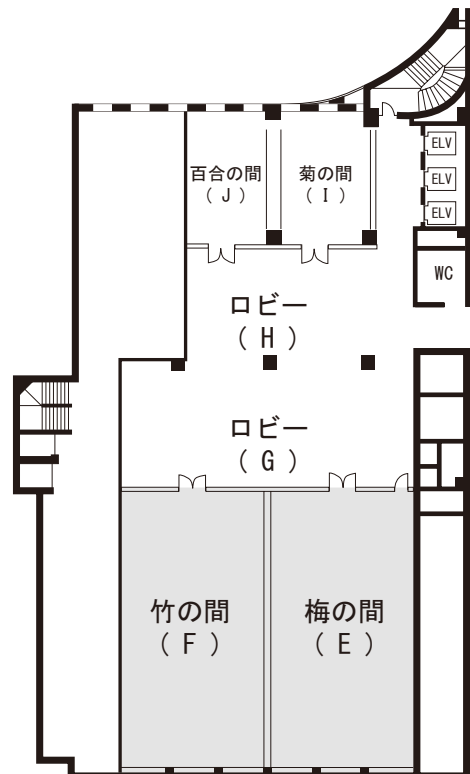
ユアーズホテル フクイ 4F



19日 懇親会



20日 モーニングセミナー



皆様へのお願いとお知らせ

【宿泊案内】

宿泊案内は学会ホームページ（<http://jiao.umin.jp/28th/>）にてご案内しています。

【参加者の皆様へ】

- 1) 参加受付は、AOSSA 8階 総合受付にて行います。総合受付にて参加費10,000円をお支払いのうえ、ネームカード兼領収証をお受け取りください。学会期間中、会場内ではネームカードを必ずご携帯ください。
- 2) ご来場のおり、本プログラム・抄録集をご持参ください。
- 3) 日本耳鼻咽喉科認定専門医のかたは、「学術集会参加報告票」とともに「専門医証（IDカード）」を必ずご持参くださいますようお願いいたします。参加受付の際に「学術集会参加報告票」の提出と「専門医証（IDカード）」のご提示をお願いすることになりました。総合受付にある「専門医証（IDカード）」受付にてお手続きください。
- 4) 会員懇親会を2月19日（金）19:00より、ユアーズホテル4階、芙蓉の間にて開催いたします。皆様ご参加ください。会員懇親会費は参加費に含まれます。
- 5) 演者および共同発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は至急入会手続きをお取りください。入会についてご不明の点は下記事務局にご連絡ください。なお、学会当日も総合受付にある学会事務局にて新入会手続きを行っております。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入
中西印刷(株)NACOS 学会フォーラム内
Tel：075-415-3661 Fax：075- 415-3662
E-mail：jiao@nacos.com

【演者の方へ 発表方法のご案内】

今学会での発表形式は下記3形式で行ないます。

それぞれご作成いただく発表資料や口演時間に違いがございますのでご注意ください

1. 口演特別枠発表者の皆様へ

口演は、Power Point によるPCスライド一面のみとさせていただきます。

口演時間10分間、質疑応答時間5分間です。時間厳守をお願いします。

2. 口演発表者の皆様へ

口演は、Power Point によるPCスライド一面のみとさせていただきます。

口演は第1会場で行ない、口演時間は7分間、質疑応答時間3分間です。

3. ポスター発表者の皆様へ

ポスターは下記の作成要領にそってお作りください。

ポスターディスカッションはポスター会場で行ない、口演時間は3分間、質疑応答時間2分間です。

1. PCスライド作成要領

- (1) 発表に際してはWindows版Power Point で準備下さい。USBフラッシュメモリー、PC本体（Windows）のいずれかをお持ち込みください。発表環境については後述を参照して下さい。必ず発表データを含んだ予備を持参してください。Macintosh版Power Point での発表を希望されるかたは、Macintosh PC本体をお持ちこみの場合のみとさせていただきます。Windows 7でのご発表を希望されるかたは、本体をお持ち込みの場合のみとさせていただきます。
- (2) 発表の1時間前（9時からのセッションは30分前）までにPC受付にて用意したチェックシートに必要事項を記入後、専門のPCオペレーター立ち会いのもと動作確認を行ってください。
- (3) 下記ルールに基づいたPC接続の標準環境のみをご用意いたします。表現される画面の不具合についてはすべて演者の責任となりますのでご注意ください。
- (4) PC接続は外部出力端子がD-Sub-15pinです。PCの機種によっては外部出力端子がD-Sub-15pin以外のものがございますので、必ずD-Sub-15pinで接続できるコネクタを各自ご持参ください。Macintosh PC本体をお持ちこみの場合は必ずD-Sub-15pin接続コネクタをご持参ください。
- (5) ご持参されるPCでの外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参ください。
- (6) 発表の際は演台に設置しております液晶モニター、マウスを使って、演者ご本人により操作をお願いいたします。オペレーターに操作を依頼希望の方はPC受付にて、PCオペレーターにお伝えください。また、ご自身のパソコンを演台に乗せて操作されることも可能です。
- (7) 当方での予備環境について

[1] OS : Windows XP、Windows Vista (Windows 7 不可)

[2] アプリケーション : Windows版Power Point 2003・2007

[3] 発表に使用できるデータ

Windowsで作成したMicrosoft Power Pointのファイルのみとします。画面サイズはXGA（1024×768）になります。

Mac版Power Pointやその他のアプリケーションで作成されたデータは、受け付けませんのでご注意ください。Mac版Power Pointで作成したファイルをWindows版のPower Pointに変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境のPCですべての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認のうえ、完成した形でお持ちください。Macintosh PC本体をお持ちこみの場合のみMac版Power Point での発表が可能です。

また、OSがWindows 7の場合、PC本体をお持ち込みの場合のみ、ご発表が可能です。

[4] フォント

Windows XP（日本語版）、Windows Vista（日本語版）に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝の4種類のみ。

英語：Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier、Courier New、Georgiaの9種類のみ

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

また、Windows 7 専用フォントは使用不可になります。

[5] データ容量

データの容量を、100MB（総量）までとさせていただきます。

[6] 動画について

Windows Media Playerをご使用の場合のみ動画再生可能です。Power Point に動画をインサートし動作確認を行ったうえで持ち込みください。Real Player や Quick Time 等 Windows Media player 以

外の動画ソフトはご使用になれません。

PC本体お持込みにてご発表の場合は、お持込みいただいたPC環境、アプリケーションに依存いたします。

[7] 音声について

動画に音声がある場合、また、音声だけのファイルがある場合は、音声の再生が可能です。事前にPC受付にて、専門のPCオペレーター立ち会いのもとご確認ください。

[8] メディアの持ち込み形式について

USBフラッシュメモリーのための受付とさせていただきます。CD、MOディスク、スマートメディア、SDカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付はいたしませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

[9] データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないでください。また、データのファイル名には、演題番号に続けて発表者の氏名（漢字）、拡張子（.ppt）を必ずつけてください。（例 O-001免疫太郎.ppt）

2. ポスター作成要領

ポスターのボードの大きさは縦210cm×横90cmを準備いたします。

ポスターサイズの目安は

タイトル, 所属, 演者名: 縦20cm×横70cm

発表内容: 縦190cm×横90cm 以内となります。

- (1) ポスターの掲示は、2月18日（木）午後1時より午後7時までの間に所定の演題番号が記載されたボードに掲示ください。ポスター会場前の受付にて掲示用ピンを受け取り、所定の時間内に所定の場所に掲示して下さい。
- (2) ポスターは2月20日（土）13時30分から14時00分までの間に撤去して下さい。撤去の時間を過ぎても掲示してあるポスターは学会事務局にて処分いたします。

3. 司会・座長の先生方へ

- 1) セッション開始20分前に各会場へお越し下さい。
- 2) タイムテーブルに従って各セッションをお進めください。定刻通りの進行をお願いいたします。

【関連会議】

理 事 会	2月18日（木）12:30～14:00	AOSSA 6階	研修室607
評議員会	2月18日（木）14:00～14:50	AOSSA 6階	研修室601ABC
総 会	2月19日（金）13:00～13:30	AOSSA 8階	第一会場

お問い合わせ先

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局
〒910-1193 吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
福井大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室内
Tel：0776-61-8407 Fax：0776-61-8118
E-mail：jiao28th@4580.jp

【抄録用原稿提出のお願い（学会事務局からのお知らせ）】

口演特別枠・口演・ポスター発表の皆様の演題は耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌：28巻2号に掲載させて頂きます。該当される皆様におかれましては抄録原稿を、発表当日受付にご提出ください。なお、抄録の書式は本学会ホームページよりダウンロードできるよう準備しております。第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会ホームページ（<http://jiao.umin.jp/28th/>）の「演者の方へ」ページ内「抄録原稿の提出について」にアクセスし、「抄録ひな型」および「原稿作成要領」ファイルをダウンロードしてください。ダウンロードされた「抄録ひな型」ファイルに抄録を上書き入力し、原稿を作成してください。入力が終わりましたら電子媒体（フロッピーディスク、CD-R等）に保存してご提出ください。提出していただくものは以下のものです。

	プリントアウト	電子データ
本文	○	○
参考文献	○	○
図	○	(○)
表	○	○
写真	○	(○)

※電子媒体については、フロッピーディスク、CD-ROM、MOのいずれでも結構ですが、電子媒体をそのままご提出いただける状態でお持ちください。USBフラッシュメモリーでのデータのお持ち込みはできません。

※電子媒体には必ずラベルを貼り、演題番号・著者名・使用したコンピュータのOSの種類（Windows 98/2000/Me/XP、Mac OS 9/OS Xなど）・ソフト名とバージョン（Word 98/2000/2002など）をご記入ください。

※図、写真については、作業効率を高めるため、できるだけ電子データをご用意ください。

抄録原稿提出についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局（担当：石田恵奈美）
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷㈱内
TEL: 075-441-3155 / FAX: 075-417-2050 / e-mail: jjiao-ed@nacos.com

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

平成22年2月18日(木)

	第一会場 AOSSA：8F 県民ホール	ポスター会場 1 AOSSA：6F 602,603,604	ポスター会場 2 AOSSA：6F 605,606,608	理事会会場 AOSSA：6F 研修室 607	第二会場 AOSSA：6F 研修室 601ABC
8:00					
9:00					
10:00					
11:00					
12:00					
13:00		ポスター掲示 13：00～19：00	ポスター掲示 13：00～19：00	理事会 12:30～14:00	
14:00				評議員会 14:00～14:50	
15:00	教育講演Ⅰ 15:00～16:00 座長：鈴木正志 演者：樗木俊聡				
16:00	教育講演Ⅱ 16:00～17:00 座長：竹中 洋 演者：中西憲司				
17:00	国際交流基金贈呈授与式 17:10～17:20 帰国報告 17:20～17:35				
18:00	スポンサードレクチャー 17:40～19:00 座長：市川銀一郎 演者：山田武千代、朝原宣治、奥野史子				
19:00	移動				
20:00	スポンサード懇親会 19:15～20:30 ユアーズホテル：4F 芙蓉の間				
21:00					

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

平成22年2月19日(金)

	第一会場 AOSSA：8F 県民ホール	第二会場 AOSSA：6F 研修室601ABC	ポスター会場1 AOSSA:6F 602,603,604	ポスター会場2 AOSSA:6F 605,606,608
8:00	開場 8:30			
	開会の辞 8:50～9:00			
9:00	一般演題：口演：アレルギー基礎Ⅰ：9:00～9:40 O-1～4			
10:00	一般演題：口演：アレルギー基礎Ⅱ：9:40～10:20 O-5～8			
	一般演題：口演：好酸球：10:20～11:00 O-9～12			
11:00	一般口演：特別枠：11:00～12:00 S-1～4			
12:00	ランチョンセミナーⅠ 12:00～13:00 「アレルギー疾患と遺伝子」 座長：内藤健晴 演者：玉利真由美、檜澤伸之	ランチョンセミナーⅡ 12:00～13:00 「花粉症患者の知られざるリスク～睡眠障害～」 座長：今野昭義 演者：千葉伸太郎		
13:00	総会 13:00～13:30		ポスター展示	ポスター展示
	一般演題：口演：腫瘍Ⅰ：13:30～14:10 O-13～16			
14:00	一般演題：口演：腫瘍Ⅱ：14:10～14:30 O-17～18			
	一般演題：口演：粘膜：14:30～14:50 O-19～20			
15:00	一般演題：口演：粘膜免疫：14:50～15:30 O-21～24			
	一般演題：口演：アレルギー治療：15:30～16:10 O-25～28			
16:00	スポンサードセミナー 16:10～17:10 座長：黒野祐一 演者：清野 宏			
17:00				
18:00			ポスター発表 17:20～18:20 P-1～12	ポスター発表 17:20～18:20 P-13～24
19:00	移動			
20:00	会員懇親会 19:00～21:00 ユアーズホテル：4F 芙蓉の間			
21:00				

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表

平成22年2月20日(土)

	第一会場 AOSSA：8F 県民ホール	ポスター会場1 AOSSA:6F 602,603,604	ポスター会場2 AOSSA:6F 605,606,608	モーニングセミナー ユアーズホテル：4F 芙蓉の間
7:00				
8:00	開場 8:30			モーニングセミナー 8:00～8:45 「慢性咳嗽の診断と治療」 座長：増山敬祐 演者：新実彰男
9:00	移動			
	一般演題：口演：ヒスタミン受容体：9:00～9:40 O-29～32	ポスター展示	ポスター展示	
10:00	一般演題：口演：感染と炎症：9:40～10:20 O-33～36			
	一般演題：口演：特殊疾患：10:20～11:00 O-37～40			
11:00		ポスター発表 11:00～12:20 P-25～40	ポスター発表 11:00～12:20 P-41～56	
12:00				
13:00	ランチョンセミナーⅢ 12:30～13:30 「スギ花粉による皮膚炎の臨床的特徴と治療法」 座長：洲崎春海 演者：横関博雄			
14:00	閉会式	ポスターかたづけ	ポスターかたづけ	
15:00				
16:00				
17:00				
18:00				
19:00				
20:00				

第28回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

(および教育研修会) 演題予定

教育研修会・教育講演 第一会場

2月18日(木) 15:00～16:00

「樹状細胞によるIgA生産調節機構」

演者：樗木 俊聡(東京医科歯科大学難治疾患研究所・生体防御学分野、JST・CREST)

座長：鈴木 正志(大分大学)

教育研修会・教育講演 第一会場

2月18日(木) 16:00～17:00

「IL-18, IL-33, 好塩基球によるアレルギー性炎症の誘導と増悪機序」

演者：中西 憲司(兵庫医科大学 免疫学医動物学)

座長：竹中 洋(大阪医科大学 耳鼻咽喉科学教室)

国際交流基金 贈呈授与式 第一会場

2月18日(木) 17:10～17:20

帰国報告会 第一会場

2月18日(木) 17:20～17:35

「siRNAを用いたアレルギー性鼻炎の治療」

演者：鈴木 元彦

(名古屋市立大学)

座長：黒野 祐一

(日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会 理事長)

スポンサードレクチャー 第一会場

2月18日（木） 17：40～19：00

「鼻呼吸の重要性」

演者：山田 武千代（福井大学）

朝原 宣治（北京オリンピック 銅メダリスト）

奥野 史子（バルセロナオリンピック 銅メダリスト）

座長：市川 銀一郎（順天堂大学）

ランチョンセミナー I 第一会場

2月19日（金） 12：00～13：00

アレルギー疾患と遺伝子

「遺伝子多型と機能解析」

演者：玉利 真由美（理化学研究所ゲノム医科学研究センター 呼吸器疾患研究チーム）

「喘息におけるテーラーメイド医療」

演者：檜澤 伸之（筑波大学大学院人間総合科学研究科 呼吸病態医学分野）

座長：内藤 健晴（藤田保健衛生大学）

ランチョンセミナー II 第二会場

2月19日（金） 12：00～13：00

「花粉症患者の知られざるリスク ～睡眠障害～」

演者：千葉 伸太郎（太田総合病院・太田睡眠科学センター 耳鼻咽喉科）

座長：今野 昭義（総合南東北病院アレルギー頭頸部センター）

スポンサードセミナー 第一会場

2月19日（金） 16：10～17：10

「頭部顔面領域粘膜免疫機構という概念」

演者：清野 宏（東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野）

座長：黒野 祐一（鹿児島大学）

モーニングセミナー ユアーズホテル 芙蓉の間

2月20日（土） 8：00～8：45

「慢性咳嗽の診断と治療」

演者：新実 彰男（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学）

座長：増山 敬祐（山梨大学）

ランチョンセミナーⅢ 第一会場

2月20日（土） 12：30～13：30

「スギ花粉による皮膚炎の臨床的特徴と治療法」

演者：横関 博雄（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野）

座長：洲崎 春海（昭和大学）

口 演

2月19日（金） 9：00～9：40 アレルギー基礎Ⅰ

座長：荻野 敏（大阪大学）、春名 眞一（獨協医科大学）

○－1 中高年者におけるスギ花粉症の長期追跡調査

米倉 修二、櫻井 大樹、茶藺 英明、堀口 茂俊、
花澤 豊行、岡本 美孝

千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学

○－2 花粉飛散室を用いたスギ花粉症の症状評価

堀口 茂俊、米倉 修二、稲嶺 絢子、岡本 美孝

千葉大学 医学部 耳鼻咽喉科

○－3 スフィンゴシン 1 リン酸の肥満細胞の反応性に対する影響

北村 嘉章¹、福井 裕行²、武田 憲昭¹

¹徳島大学 医学部 耳鼻咽喉科

²徳島大学薬学部分子薬物学

○－4 アレルウォッチ涙液IgEの鼻汁IgE測定への応用

福島 慶¹、竹内 裕美¹、森實 理恵¹、北野 博也¹、

裕田 猛真²、榎本 雅夫^{1,2}

¹鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉頭頸部外科学分野

²りんくう総合医療センター

2月19日（金） 9：40～10：20 アレルギー基礎Ⅱ

座長：清水 猛史（滋賀医科大学）、大久保 公裕（日本医科大学）

○－5 スギ花粉症における末梢血CD4陽性T細胞における mRNA の動向

意元 義政^{1,2}、野口 恵美子²、有波 忠雄²、藤枝 重治¹

¹福井大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学

²筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻遺伝医学分野

○－6 スギ花粉症患者のCD4⁺CD25⁺制御性T細胞（Treg）による
抗原特異的免疫反応の制御

山西 貴大¹、近松 一郎¹、高橋 吾郎²、遠藤 周一郎¹、増山 敬祐¹

¹山梨大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

²浜松医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

○－7 鼻アレルギー局所におけるTh1-Th2バランスに関する免疫組織学的検討

白崎 英明、才川 悦子、氷見 徹夫

札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○－8 鼻粘膜上皮におけるIL-25産生についての検討

亀倉 隆太¹、高野 賢一¹、郷 充¹、小島 隆²、澤田 典均²、氷見 徹夫¹

¹札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

²札幌医科大学 医学部 病理学第2

2月19日（金） 10：20～11：00 好酸球

座長：岡本 美孝（千葉大学）、池田 勝久（順天堂大学）

○－9 好酸球性副鼻腔炎におけるPPAR- γ の発現と局在

浅香 力、本田 耕平、福井 奈緒子、伊藤 永子、石川 和夫

秋田大学 医学部 大学院 医学研究科

○－10 Toll like receptorを介する好酸球性炎症制御機構の検討

檜垣 貴哉、岡野 光博、牧原 靖一郎、假谷 伸、西崎 和則

岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

○－11 好酸球性副鼻腔炎症例に対するステロイド局所療法の有効性

－臨床成績とステロイド受容体の発現に関して－

竹野 幸夫、竹田 和正、石野 岳志、中下 陽介、平川 勝洋

広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-12 上気道好酸球性炎症におけるIL-18の発現と作用

藤原 瑠美、岡野 光博、牧原 靖一郎、檜垣 貴哉、
仮谷 伸、西崎 和則

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

2月19日(金) 11:00～12:00 口演特別枠

座長：氷見 徹夫(札幌医科大学)、川内 秀之(島根大学)

S-1 慢性上気道炎症におけるIL-17A発現の臨床的意義とその制御機構

牧原 靖一郎、岡野 光博、檜垣 貴哉、仮谷 伸、金井 健吾、
松山 祐子、西崎 和則

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

S-2 CD40 siRNAを導入した樹状細胞によるアレルギー性鼻炎の制御

鈴木 元彦、中村 善久、尾崎 慎哉、村上 信五

名古屋市立大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

S-3 スギ花粉症の舌下免疫療法とIL-10産生誘導性制御性T細胞およびIgG4による作用機序

湯田 厚司¹、山中 恵一²、宮本 由起子¹、竹内 万彦¹

¹三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

²三重大学大学院 医学系研究科 皮膚科

S-4 Snail1によるMT-MMPおよびMT2-MMPの癌浸潤・転移能の制御

太田 一郎、細井 裕司

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

2月19日（金） 13：30～14：10 腫瘍Ⅰ

座長：吉崎 智一（金沢大学）、家根 旦有（近畿大学奈良病院）

O-13 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるCD70の発現

吉野 和美、片山 昭公、岸部 幹、長門 利純、高原 幹、原渕 保明
旭川医科大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

O-14 CD44+cancer stem cellは様々なアポトーシス誘導刺激に対して抵抗性を示す

石井 裕貴¹、近松 一郎¹、高橋 吾郎¹、坂倉 浩一²、増山 敬祐¹

¹山梨大学 医学部 頭頸部・耳鼻咽喉科

²University of Pittsburgh Cancer Institute

O-15 Tumor microenvironmentにおけるCD44+ cancer stem cellの

免疫抑制機構に果たす役割

近松 一郎¹、石井 裕貴¹、高橋 吾郎¹、坂倉 浩一²、増山 敬祐¹

¹山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科

²University of Pittsburgh Cancer Institute

O-16 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるケモカインおよびケモカイン受容体の発現

長門 利純、岸部 幹、森合 重誉、吉野 和美、高原 幹、原渕 保明
旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2月19日（金） 14：10～14：30 腫瘍Ⅱ

座長：猪原 秀典（大阪大学）

O-17 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるmicroRNAの発現

岸部 幹、吉野 和美、長門 利純、高原 幹、片山 昭公、
林 達哉、原渕 保明

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

O-18 中咽頭側壁癌におけるタイト結合蛋白の発現変化の検討

近藤 敦、高野 賢一、亀倉 隆太、氷見 徹夫

札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月19日（金） 14：30～14：50 粘膜

座長：青柳 優（山形大学）

○－19 下鼻甲介由来培養線維芽細胞のVEGF産生に対するモメタゾンの産生抑制効果
松根 彰志、原田 みずえ、吉福 孝介、大堀 純一郎、黒野 祐一
鹿児島大学

○－20 咽喉頭酸逆流症における咽頭粘膜の電気的特性
三輪 正人、渡辺 建介
獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科

2月19日（金） 14：50～15：30 粘膜免疫

座長：村上 信五（名古屋市立大学）、岡野 光博（岡山大学）

○－21 RSウイルス感染ヒト鼻粘膜上皮細胞におけるタイト結合の誘導
正木 智之¹、小島 隆²、大國 毅^{1,2}、小笠原 徳子^{1,2}、
岡林 環樹³、澤田 典均²、氷見 徹夫¹
¹札幌医科大学 耳鼻咽喉科
²札幌医科大学 病理学第二講座
³札幌医科大学 微生物学講座

○－22 インフルエンザ感染者の鼻腔IgA抗体と血清IgG抗体の感染後の経時変化
藤本 知佐¹、木戸 博²、山口 美代子²、松永 敦³、
澤田 亜也子³、田中 健⁴
¹徳島大学大学院 医科学教育部 耳鼻咽喉科学
²徳島大学 疾患酵素学研究センター
³大北クリニック
⁴三野田中病院

○－23 Monophosphoryl lipid Aを用いた鼻咽腔粘膜局所免疫応答の賦活化の試み
平野 隆、川野 利明、児玉 悟、鈴木 正志
大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

- －24 徐放型経鼻ゼラチンゲルワクチン作製の試み
児玉 悟、野田 謙二、平野 隆、鈴木 正志
大分大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月19日（金） 15：30～16：10 アレルギー治療
座長：久保 伸夫（大阪歯科大学）、竹内 万彦（三重大学）

- －25 アレルギー性鼻炎に対する手術加療が鼻腔NOに及ぼす影響
窪 誠太、山田 武千代、伊藤 有未、坂下 雅文、藤枝 重治
福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

- －26 喘息合併副鼻腔炎におけるESS術後嗅覚予後
出島 健司
京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科

- －27 スギ特異的舌下免疫療法（SLIT）治療効果とそのバイオマーカー分子の検討
坂下 雅文¹、大澤 陽子²、高橋 昇³、小嶋 章弘²、山本 英之¹、
山田 武千代¹、藤枝 重治¹
¹福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
²公立丹南病院
³福井総合病院

- －28 Cry j 1に対する末梢血単核細胞のIL－13/IL－17/IL－18/IL－31/IL－33
産生と免疫療法による制御
岡野 光博、檜垣 貴哉、牧原 靖一郎、仮谷 伸、金井 健吾、
松山 祐子、西崎 和則
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

2月20日(土) 9:00～9:40 ヒスタミン受容体

座長：山下 裕司(山口大学)、Pawankar Ruby(日本医科大学)

○-29 スギ花粉症に対するヒスタミンH1受容体拮抗薬による
初期療法の作用機序の検討

北村 嘉章¹、黒田 若奈²、近藤 雄人³、水口 博之³、
福井 裕行³、武田 憲昭¹

¹徳島大学 医学部 耳鼻咽喉科

²屋島総合病院耳鼻咽喉科

³徳島大学薬学部分子薬物学

○-30 ヒスタミンと抗ヒスタミン薬によるヒト単球上ヒスタミンH1受容体
およびロイコトリエンCysLT1受容体発現への影響

藤倉 輝道¹、下澤 達雄²

¹日本医科大学 武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科、

²東京大学医学部附属病院検査部

○-31 第2世代抗ヒスタミン薬のCD14陽性細胞からのTh2 T細胞遊走因子
産生抑制作用

庄司 育央、古田 厚子、浅野 和仁、洲崎 春海

昭和大学病院 医学部 耳鼻咽喉科教室

○-32 マウス肥満細胞のサイトカイン産生に及ぼすH1受容体拮抗薬の抑制作用

清水 香奈子、川内 秀之、佐野 千晶、清水 保彦、

青井 典明、片岡 真吾

島根大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月20日(土) 9:40～10:20 感染と炎症

座長：原田 保(川崎医科大学)、友田 幸一(関西医科大学)

O-33 Lactobacillus paracasei KW3110株の舌下投与における
アレルギー性鼻炎抑制効果検討

稲嶺 絢子、米倉 修二、堀口 茂俊、岡本 美孝
千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科

O-34 気道炎症に対するヘパリンの抗炎症作用について

小河 孝夫、清水 志乃、戸嶋 一郎、柴山 将之、瀬野 悟史、
星 恵理子、清水 猛史
滋賀医科大学耳鼻咽喉科学教室

O-35 プロテアーゼは気道上皮細胞においてPAR-2受容体を介して
TSLP産生を誘導する

神前 英明^{1,2}、紀太 博仁²、清水 猛史¹
¹ 滋賀医科大学耳鼻咽喉科
² メイヨークリニック

O-36 Math1による杯細胞分化の誘導

中村 善久¹、濱島 有喜¹、小森 正博²、鈴木 元彦¹、村上 信五¹
¹ 名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科
² 高知大学 医学部 耳鼻咽喉科

2月20日（土） 10：20～11：00 特殊疾患

座長：阪上 雅史（兵庫医科大学）、武田 憲昭（徳島大学）

○－37 当科で経験した難治性口腔咽頭潰瘍類似症例

西川 仁、牛来 茂樹、高梨 芳崇、本蔵 陽平
いわき市立総合磐城共立病院 耳鼻咽喉科

○－38 好酸球性中耳炎診断基準2009の検証

飯野 ゆき子¹、松谷 幸子²、松原 篤³、中川 尚志⁴、野中 学⁵

¹ 自治医科大学 さいたま医療センター 耳鼻咽喉科

² 仙台赤十字病院 耳鼻咽喉科

³ 弘前大学 医学部 耳鼻咽喉科

⁴ 福岡大学 医学部 耳鼻咽喉科

⁵ 日本医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

○－39 IgA腎症患者の扁桃リンパ球における糖鎖不全IgAの産生

東谷 敏孝、高原 幹、上田 征吾、吉崎 智貴、原渕 保明
旭川医大 耳鼻咽喉科頭頸部外科

○－40 IgG4関連硬化性疾患の線維化に係わる新規分子の検索

倉上 和也¹、太田 伸男¹、石田 晃弘¹、稲村 和俊²、
出原 賢治³、青柳 優¹

¹ 山形大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

² 山形県立河北病院 耳鼻咽喉科

³ 佐賀医科大学 医学部 分子生命科学講座

ポスター

2月19日（金） 17：20～18：20 ポスター会場 1

抗ロイコトリエン系

座長：橋口 一弘（北里大学北里研究所病院）、八尾 和雄（神奈川歯科大学）

P-1 スギ花粉症に対する第二世代抗ヒスタミン薬と抗ロイコトリエン薬の
併用効果に関する臨床研究

峯川 明、小野 倫嗣、池田 勝久

順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 耳鼻咽喉・頭頸科

P-2 初期治療のスギ花粉症患者のQOLおよび睡眠障害に対する効果

後藤 崇成、太田 伸男、鈴木 祐輔、青柳 優

山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

P-3 花粉症と咳嗽

－スギヒノキ花粉症患者実態調査と

プラニルカスト初期療法の有用性について－

上野 幸恵¹、朝子 幹也¹、濱田 聡子²、河本 光平³、

大岡 久司¹、友田 幸一¹

¹ 関西医科大学 耳鼻咽喉科 ² 美杉会 男山病院 耳鼻咽喉科

³ 済生会 野江病院 耳鼻咽喉科

P-4 プラニルカストによるスギ花粉症の初期療法の有効性

兵 行義¹、原田 保¹、荻野 敏²、文珠 正大¹、増田 勝己³、

福辻 賢治¹、秋定 健¹

¹ 川崎医科大学 耳鼻咽喉科 ² 大阪大学大学院医学系保健学科

³ 赤穂中央病院 耳鼻咽喉科

P-5 新規合成ステロイドNS-126の抗アレルギー作用

井上 直己¹、橋野 朝美¹、景山 潔人¹、張 金²、橋本 未樹子¹、

笹川 高広¹、高橋 洋介¹、川北 直子¹、森 和哉¹、興井 隆¹

¹ 日本新薬株式会社 創薬研究所 ² 日本新薬株式会社 事業開発統括部

- P-6 アレルギー性鼻炎による後鼻漏治療の臨床的検討
中下 陽介、石野 岳志、竹野 幸夫、平川 勝洋
広島大学大学院 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学

免疫療法

座長：森 望 (香川大学)

- P-7 スギ花粉飛散数による成人の皮下および舌下免疫療法の治療効果
宮本 由起子¹、湯田 厚司¹、垣内 舞美²、風間 信吾²、
後藤 洋輔²、森下 裕之²、竹内 万彦¹
¹ 三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科
² 三重大学医学部 医学科 4年生
- P-8 当科における免疫療法の副反応の発現とその対策と予防
金井 健吾、岡野 光博、檜垣 貴哉、牧原 靖一郎、
阪谷 伸、松山 祐子、西崎 和則
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学
- P-9 JRQLQによるスギ特異的免疫療法の有効性の検討 - 2009年での解析
松山 祐子、岡野 光博、牧原 靖一郎、檜垣 貴哉、
阪谷 伸、金井 健吾、西崎 和則
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

手術

座長：加瀬 康弘 (埼玉医科大学)

- P-10 アレルギー性鼻炎に対するアルゴンプラズマ鼻粘膜焼灼治療
都築 秀明¹、都築 建三²
¹ 耳鼻咽喉科 みやこ クリニック
² 兵庫医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

- P-11 鼻閉に対する下鼻甲介外来手術の術後成績
都築 建三、竹林 宏記、岡 秀樹、阪上 雅史
兵庫医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
- P-12 後鼻神経切断術のスギ花粉症に対する有効性
上條 篤、黒田 優美、松岡 伴和、岡本 篤司、森山 元大、
宮田 政則、赤坂 るい、増山 敬祐
山梨大学大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2月19日（金） 17：20～18：20 ポスター会場2

治 療 I

座長：石川 和夫（秋田大学）

- P-13 慢性副鼻腔炎手術症例におけるアレルギー的素因について
濱本 真一、兵 行義、文珠 正大、福辻 賢治、秋定 健、原田 保
川崎医科大学 耳鼻咽喉科
- P-14 のう胞性疾患に対するOK-432局所注入療法 その適応と限界
太田 伸男、深瀬 滋、鈴木 祐輔、青柳 優
山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野
- P-15 遷延する咳嗽・咽喉頭異常感に対するトシル酸スプラタスト（IPD）の
治療効果の検討
松本 亮典、小川 晃弘、牧野 琢丸、宮武 智実
姫路聖マリア病院
- P-16 ミクリツ病における顎下腺の病理組織学的検討
高野 賢一、亀倉 隆太、近藤 敦、氷見 徹夫
札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

治 療 II

座長：石戸谷 淳一（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

P－17 スギ花粉症患者自己IgGによる好塩基球の制御

山田 武千代、窪 誠太、伊藤 有未、坂下 雅文、山本 英之、
鈴木 弟、藤枝 重治

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

P－18 塩酸モキシフロキサシンの扁桃炎および副鼻腔炎における 痛みに対する効果の検討

呉 松晃¹、谷本 秀司²、徳永 雅一³、上原 紀夫⁴、
三輪 正人¹、狩野 信和¹、廣瀬 壮¹、中島 規幸¹、
村上 敦史¹、岩崎 洋子¹、三輪 真由美⁵、渡辺 建介¹

¹ 獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科

² 谷本耳鼻咽喉科

³ とくなが耳鼻咽喉科

⁴ 上原耳鼻咽喉科

⁵ はりま坂耳鼻咽喉科

P－19 ヒト鼻粘膜上皮バリア機能に対するヒアルロン酸含有点鼻薬の効果

狩野 信和¹、三輪 正人¹、中島 規幸¹、阿部 実恵子¹、蓮 琢也¹、
山口 晋太郎¹、三輪 真由美²、渡辺 建介¹

¹ 獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科

² はりま坂耳鼻咽喉科・アレルギー科

腫 瘍

座長：市村 恵一（自治医科大学）

P－20 上咽頭癌におけるEBV-LMP1抗原提示に関する基礎的研究

脇坂 尚宏、吉崎 智一

金沢大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P－21 頭頸部扁平上皮癌における癌抗原 MAGE-A4 の発現と培養 T リンパ球輸注
および MAGE-A4 ペプチドによる免疫再建療法

湯田 厚司¹、池田 裕明²、影山 慎一²、榎 竜嗣⁴、
竹内 万彦¹、珠玖 洋^{2,3}

¹ 三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

² 三重大学 大学院医学系研究科 遺伝子・免疫細胞治療学

³ 三重大学 大学院医学系研究科 がんワクチン治療学

⁴ タカラバイオ株式会社

P－22 頭頸部癌における癌幹細胞の検討

～ CD133 陽性細胞の存在意義について～

金谷 洋明、今野 渉、平林 秀樹、春名 眞一

獨協医科大学 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科

P－23 鼻性 NK/T 細胞リンパ腫細胞株における LFA-1 と ICAM1 の解析

高原 幹、長門 利純、吉野 和美、岸部 幹、片山 昭広、
林 達哉、原渕 保明

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P－24 頭頸部癌とアレルギー疾患の関連について

八木 清香、吉崎 智一

金沢大学 医薬保健学域医学類 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

2月20日(土) 11:00～12:20 ポスター会場 1

アレルギー疫学 I

座長：榎本 雅夫(泉佐野病院)

P-25 徳島県南部における30年間のヒノキ科花粉飛散状況について

中山 壽孝¹、北村 嘉章²、武田 憲昭²

¹ 阿南市 ² 徳島大学 医学部 耳鼻咽喉科

P-26 京都市における過去6年間のダーラム型花粉捕集器と
リアルタイム花粉モニターの花粉観測比較

安田 誠、浜 雄光、浅野 純志、萌拔 陽子、久 育男

京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

P-27 スギ花粉飛散数の累積曲線の検討

渡辺 哲生、鈴木 正志

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座

P-28 当科における花粉抗原陽性率と花粉共通抗原性の検討

鈴木 祐輔¹、太田 伸男¹、高橋 裕一¹、青柳 優¹、

深瀬 滋²、大久保 公裕³

¹ 山形大学 医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

² 山形市

³ 日本医科大学 耳鼻咽喉科

アレルギー疫学 II

座長：飯野 ゆき子(自治医科大附属さいたま医療センター)

P-29 当科におけるアレルギー性鼻炎の現況

ーカモガヤ抗原に関する検討ー

文珠 正大¹、兵 行義¹、原田 保¹、増田 勝巳²、濱本 真一¹、

福辻 賢治¹、秋定 健¹

¹ 川崎医科大学 耳鼻咽喉科 ² 赤穂中央病院 耳鼻咽喉科

- P-30 山梨県における春季花粉症患者のいびきと日中の眠気に関する調査
宮田 政則^{1,2}、大戸 武久²、小澤 仁²、島田 和哉²、藤森 功²、
堀内 博人²、渡部 一雄²、高橋 吾朗³、松岡 伴和^{1,2}、
松崎 全成²、増山 敬祐^{1,2}
¹ 山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科
² 山梨環境アレルギー研究会 ³ 浜松医科大学 耳鼻咽喉科

- P-31 スギ花粉症（単独感作群とHDまたはダニ重複感作群における）と
生まれ月の関連
中井 義紀、家根 旦有、梶井 貴史
近畿大学医学部奈良病院 耳鼻咽喉科

- P-32 BMIとアレルギーに関する検討
松原 篤¹、高畑 淳子¹、西澤 尚徳¹、新川 秀一¹、
梅田 孝²、檀上 和真²、高橋 一平²、松坂 方士²
¹ 弘前大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科講座 ² 弘前大学

Q O L

座長：三輪 高喜（金沢医科大学）

- P-33 スギ花粉症患者の労働生産性に影響を与える因子
南 由優¹、加藤 千晶¹、小柳 桃朱¹、荻野 敏¹、有本 啓恵²、
入船 盛弘²、岩田 伸子²、大川内 一郎²、菊守 寛²、瀬尾 律²、
竹田 真理子²、玉城 晶子²、馬場 謙治²、野瀬 道宏²
¹ 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
² NPO 大阪アレルギー・健康支援機構（OHCASS）
- P-34 スギ花粉症患者における症状と疲労・頭重感・日中の眠気の関係
加藤 千晶¹、南 由優¹、小柳 桃朱¹、荻野 敏¹、有本 啓恵²、
入船 盛弘²、岩田 伸子²、大川内 一郎²、菊守 寛²、瀬尾 律²、
竹田 真理子²、玉城 晶子²、馬場 謙治²、野瀬 道宏²
¹ 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
² NPO 大阪アレルギー・健康支援機構（OHCASS）

P－35 スギ花粉症患者に対するQOL調査 ～JRQLQとRQLQの比較を中心に～

松岡 伴和¹、上條 篤¹、高橋 吾郎²、増山 敬祐¹

¹ 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

² 浜松医科大学 耳鼻咽喉科

P－36 大学生におけるQOLとアレルギー疾患の関係

小柳 桃朱、加藤 千晶、南 由優、荻野 敏

大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻

好酸球性副鼻腔炎

座長：鈴木 秀明（産業医科大学）

P－37 好酸球性副鼻腔炎症例のCT所見、手術所見、組織学的所見の
部位による差の検討

太田 康¹、市川 朝也¹、坂田 阿稀¹、飯野 ゆき子²、金沢 弘美²

¹ 日本赤十字社医療センター 耳鼻咽喉科

² 自治医科大学さいたま医療センター

P－38 喘息に伴う慢性副鼻腔炎症例における内視鏡下副鼻腔手術前後の
健康関連QOL評価

森實 理恵、福島 慶、竹内 裕美、北野 博也

鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉 頭頸部外科学分野

P－39 好酸球性副鼻腔炎に対するロイコトリエン受容体拮抗薬と
ステロイド点鼻併用療法の症状改善効果

近藤 健二、鈴川 佳吾、吉田 剛、馬場 信太郎、

金谷 佳織、山嵜 達也

東京大学 医学部 耳鼻咽喉科

P－40 眼症状を呈した好酸球性副鼻腔炎の1症例

本間 あや、中丸 裕爾、高木 大、福田 諭

北海道大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

2月20日(土) 11:00～12:20 ポスター会場2

基 礎

座長：野中 学(日本医科大学多摩永山病院)

P-41 鼻線維芽細胞の新しい純化培養方法

本間 博友、神谷 和作、池田 勝久

順天堂大学 耳鼻咽喉科学教室

P-42 気道上皮に対するシアストレスの影響

三輪 正人、渡辺 建介

獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科

P-43 アレルギー性鼻炎モデルマウスにおける海馬シナプス

久保 和彦¹、小宗 静男²

¹千鳥橋病院 耳鼻咽喉科 ²九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科

P-44 C57/BL6マウス蝸牛における酸化ストレスマーカーの加齢変化の検討

寺西 正明、中島 務

名古屋大学大学院 医学系研究科 頭頸部・感覚器外科学 耳鼻咽喉科

抗ヒスタミン薬 I

座長：原渕 保明(旭川医科大学)

P-45 アレルギー性鼻炎に対するベポタスチンベシル酸塩(タリオン錠R)の臨床効果の検討

小野 倫嗣、飯塚 崇、峯川 明、池田 勝久

順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 耳鼻咽喉科

P-46 スギ花粉症における睡眠障害に対するベシル酸ベポタスチンの効果

菅原 一真¹、御厨 剛史¹、橋本 誠¹、原 浩貴¹、

大久保 公裕²、山下 裕司¹

¹ 山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

² 日本医科大学耳鼻咽喉科

P－47 スギ花粉症における咽喉頭症状に対するベシル酸ベポスタチンの効果の検討

伊藤 周史、内藤 健晴、堀部 智子、三村 英也、
寺島 万成、長島 圭士郎

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

P－48 スギ・ヒノキ花粉症における問診による第二世代抗ヒスタミン薬の
薬剤選択と患者満足度調査

星 恵理子、瀬野 悟史、小河 孝夫、戸嶋 一郎、
柴山 将之、清水 猛史

滋賀医科大学 耳鼻咽喉科

抗ヒスタミン薬 II

座長：渡辺 建介（獨協医科大学越谷病院）

P－49 スギ花粉アレルギー治療における第二世代抗ヒスタミン剤の
使用比較および検討

尾崎 慎哉¹、大野 伸晃¹、中村 善久²、濱島 有喜²、
鈴木 元彦²、村上 信五²

¹ 豊田厚生病院 耳鼻咽喉科

² 名古屋市立大学耳鼻咽喉科

P－50 花粉症患者の抗ヒスタミン薬（塩酸オロパタジン、塩酸フェキソフェナジン）
に対する患者満足度調査

三村 英也、伊藤 周史、寺島 万成、長島 圭士郎、内藤 健晴

藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

P－51 スギ花粉症初期療法におけるオロパタジン塩酸塩5mg就寝前1回投与
についての検討

御厨 剛史、菅原 一真、山下 裕司

山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

P-52 ロラタジンのスギ花粉症における初期療法の検討

横井 秀格¹、石川 正治²、榎本 冬樹³、姫野 千恵美⁴、
藤巻 豊⁵、藤森 正登⁶、池田 勝久⁷

¹ 順天堂大学医学部附属浦安病院耳鼻咽喉科

² いしかわ耳鼻咽喉科クリニック ³ えの本耳鼻咽喉科

⁴ しらかわ耳鼻咽喉科クリニック ⁵ 藤巻耳鼻咽喉科

⁶ なつめ耳鼻咽喉科クリニック ⁷ 順天堂大学医学部耳鼻咽喉科教室

鼻噴霧用ステロイド

座長：西崎 和則（岡山大学）

P-53 スギ花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸点鼻液の常用点鼻と
頓用点鼻に関する無作為化比較試験

高橋 吾郎¹、増山 敬祐²

¹ 浜松医科大学 医学部 耳鼻咽喉科

² 山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-54 アレルギー性鼻炎の鼻閉に対する mometasone furoate nasal spray
(Nasonex^R) の有効性の検討

竹内 裕美、榎本 雅夫、森實 理恵、福島 慶、北野 博也

鳥取大学 医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

P-55 イネ科花粉症に対するモメタゾンフランカルボン酸エステルの効果

太田 伸男、鈴木 祐輔、高橋 裕一、青柳 優

山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

P-56 スギ花粉症患者治療における鼻噴霧用ステロイド薬
(モメタゾンフランカルボン酸) の有効性について

ー経口ステロイド薬との比較ー

唐木 将行¹、小林 隆一²、小林 英治³、唐木 りえ²、

秋山 貢佐¹、稲本 隆平¹、松原 あい¹、森 望¹

¹ 香川大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

² 綾川町陶病院 ³ 小豆島町内海病院